



↑沿道に落ちたゴミを拾い集める会員（諸浦地区県道）

## ★ 道の日でボランティア清掃 建友会が汗を流す

8月10日は国土交通省が定める「道の日」です。これにあわせて9日、長島町建友会（福山義弘会長）の会員ら約50人が町内の国道や県道の清掃作業を行い汗を流しました。

8時30分、福山会長が「お盆の帰省客のため、長島の道路をきれいにしましょう」とあいさつしスタートしました。各地区ごとに数人のグループに分かれ、沿道のゴミを拾い集めました。ゴミの多くは、タバコの吸い殻や空き缶、ペットボトルなど。参加した増田公二さんは「タバコのポイ捨ては火災の原因につながる。絶対にやめてほしい」と話しました。

## ★ 夏 浜渡の中川さん長生園に差し入れ バテ防止に役立てて

7月29日、中川勝徳さん（浜渡）が長島町養護老人ホーム長生園にオクラをプレゼントしました。

中川さんは、農業一筋になって約12年。建設業に携わっていた頃、同園の基礎工事に従事したことから、自身が栽培している野菜などを長年寄贈してきました。

この日は、約6kgのオクラを同園の利用者に手渡しました。中川さんは「町の発展に貢献してきた長島の先輩たちに、これからも長生きしてほしい。夏バテ防止に役立てて」と笑顔で話しました。



↑オクラを寄贈され笑顔になる利用者と中川さん（左端）

↓新星鱒王の出荷を喜ぶ養殖関係者



## ★ 新 新星鱒王初出荷式 新たな挑戦に期待膨らむ

東町漁業協同組合（長元信男組合長）は8月1日、「新星鱒王」の初出荷式を薄井漁港の加工場荷捌施設で行いました。

「新星鱒王」は長崎県の西海区水産研究所や南種子町漁協の協力を得て、採卵、ふ化から出荷まですべて人工で行われた東町漁協の新商品で、夏場の赤潮被害を回避することが目的となっています。

この日は、4kg前後のブリ、約1,200匹を水揚げ、加工し、大型トラックに積み込み関西方面へ出荷しました。長元組合長は「この取り組みで、周年出荷の途切れる心配がなくなり、赤潮被害の軽減と明るい兆しが見えた。高品質な夏のブリを国内外に強くアピールしたい」と喜びを語りました。